

みっきい・みっきいドゥ 支援プログラム一覧

感覚統合療法：遊びを通じて行うリハビリテーション技術

- ① 前庭覚を刺激する取り組み＜学校の校庭や公園の遊具＞
ブランコ・シーソー・滑り台・砂場の縁を平均台に見立てたバランス感覚のトレーニング
- ② 前庭覚を刺激する取り組み＜屋内＞
バランスボール・青竹踏みのバランス感覚トレーニング など
- ③ 触覚を刺激する取り組み＜屋外活動＞
砂遊び・水遊び・畑仕事体験（土や植物に触れる）・川や山遊びで色々な物に触れてみる
- ④ 触覚を刺激する取り組み＜室内＞
粘土遊び・スライム遊び・背中に書いた文字当てゲーム・袋の中身を当てるゲーム 等
- ⑤ 固有覚を刺激する取り組み
ジャングルジム・うんてい・縄ばしご・サーキットトレーニング・ストレッチ 等
その他、子供に合わせ「やりたい」「楽しい」など自主的に参加出来るような遊びや運動を提案していきます。

ABA 応用行動分析：行動の前後を操作し良い行動を増やし悪い行動を減らす療育法

- ① ABC 分析 A（行動前の状況） B（実際の行動） C（行動後の状況）
問題行動を理解するために ABC フレームに当てはめ対応策を明確にする
- ② 行動の目的を発見する （欲求、回避・逃避、注目、感覚）
- ③ 技術を活用する （強化、弱化・消去、他行動分化強化、先行条件操作）

TEACCH： 視覚情報に訴える療育法 耳で聞いたより目で見の方が記憶に残る原料

- ＜ワークシステム＞ 1日の流れを文章で見せる ①～をする②～をする③～をする 等
- ＜視覚構造化＞ 絵カードで気持ちを表現し伝えたいことを伝えるコミュニケーション法
- ＜社会的行動＞ 1日で起こり得る行動パターンをトレーニングし空気が読めなくても適切な行動を習得する
(例) 朝、友達に会ったらニコニコ笑顔であいさつ 等

学習支援：個々の学習障害に合わせた支援 読字障害、書字表出障害、算数障害 等

脳科学教育： あえて「教えない」 子供が考える貴重な機会を奪わない脳科学教育で 自由な発想力や想像力、達成感を味わい自己肯定感を高める支援プログラム